

県及び市町村の建設行政を支援する



公益
社団法人

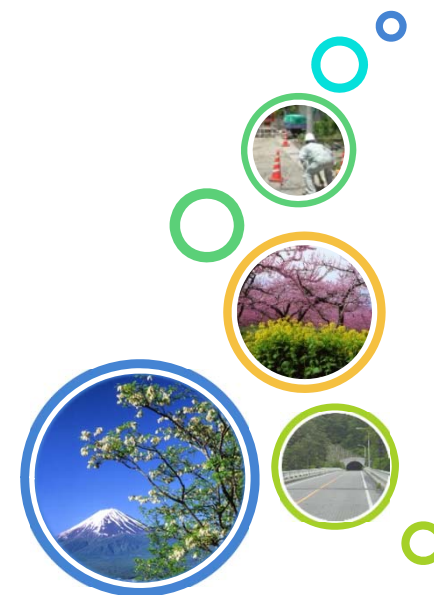
山梨県建設技術センター

就職ガイダンス

平成31年4月1日

山梨県建設技術センターは、県や市町村が行う建設行政を支援する公益社団法人です。

勤務条件等も公務員に準じており、女性技術者もその能力を十分に発揮でき、活躍しやすい職場です。



1. 基本理念・行動指針・社是

基本理念

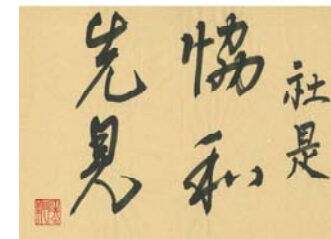
山梨県及び県内市町村等が実施する公共事業が円滑に進むよう、その補完支援を行うとともに、建設技術力向上のための調査研究、研修等を行うことにより、山梨県内における良質な社会資本の整備と県民福祉の増進に寄与すること

基本理念を果たすための行動指針

- 公益社団法人としてのコンプライアンスの遵守
- 業務を遂行する上での、公平性・中立性・守秘性の確保
- 専門的技術力の習得・発揮

社是 「協和先見」

融和と協調を旨として、進化する時代を先見し、蓄積した専門的技術と知識をもって社会に貢献する



2. 会社概要

名称	公益社団法人 山梨県建設技術センター
所在地	〒400-0805 山梨県甲府市酒折1丁目2075-2
連絡先	TEL : 055-232-0522(代表) / FAX : 055-221-1030
設立年月日	1968年(昭和43年)8月10日 (平成30年で創立50周年)
代表者	理事長 市川 成人
職員数	53名(男性:43名 女性:10名) (契約・パート職員等含む) H31.4月現在
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> • 公共事業に関する測量設計、積算及び施工管理等の補完支援 • 社会資本整備に関する調査研究、情報の収集・提供及び相談 • 社会資本に関する公物管理事務の補完支援 • 建設技術に関する研修、講習及び指導 • 公共事業に係る建設副産物の再利用等に関する監視、管理 • 災害等緊急時における地方公共団体への支援 • 労働者派遣法に基づく労働者派遣 • 指定確認検査機関としての建築確認検査 • 住宅関係法令等に基づく審査、証明、評価等 • その他この法人の目的を達成するために必要な事業
売上高	8億円 (H30年度)
加盟団体	全国建設技術センター等協議会(40道府県)



沿革

1968年 (昭和43年)	(社)山梨県建設コンサルタント協会開設
1977年 (昭和52年)	設計・積算業務を開始
1981年 (昭和56年)	(社)山梨県建設技術センターに名称変更
1991年 (平成3年)	新事務所を建設・完成 新事務所業務開始
1993年 (平成5年)	山梨県土木工事設計積算オンライン端末装置が 設置される
1995年 (平成7年)	分散型土木工事積算システムを導入し、 市町村にプログラム及びデータを販売及び配布
2012年 (平成24年)	山梨県知事より公益社団法人の認定を得る 5月15日 新法人へ移行

3. 組織等



〈社屋外観〉



〈本館1階〉

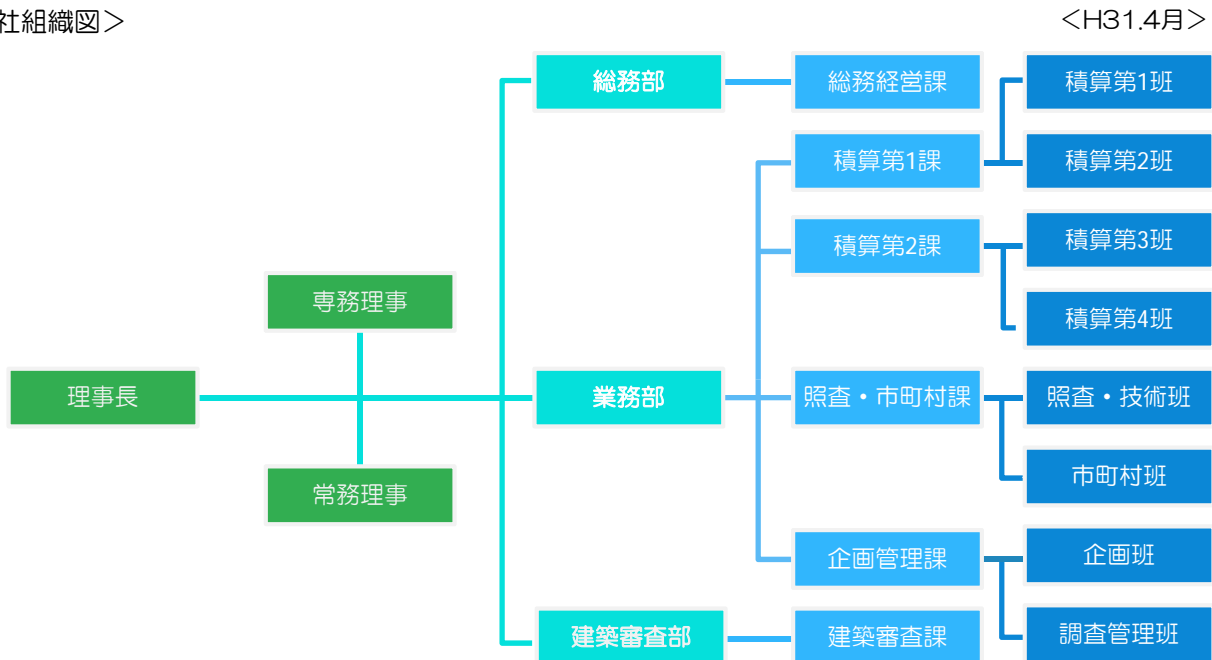


〈本館2階〉



〈本館3階〉

〈会社組織図〉



〈資格人員〉

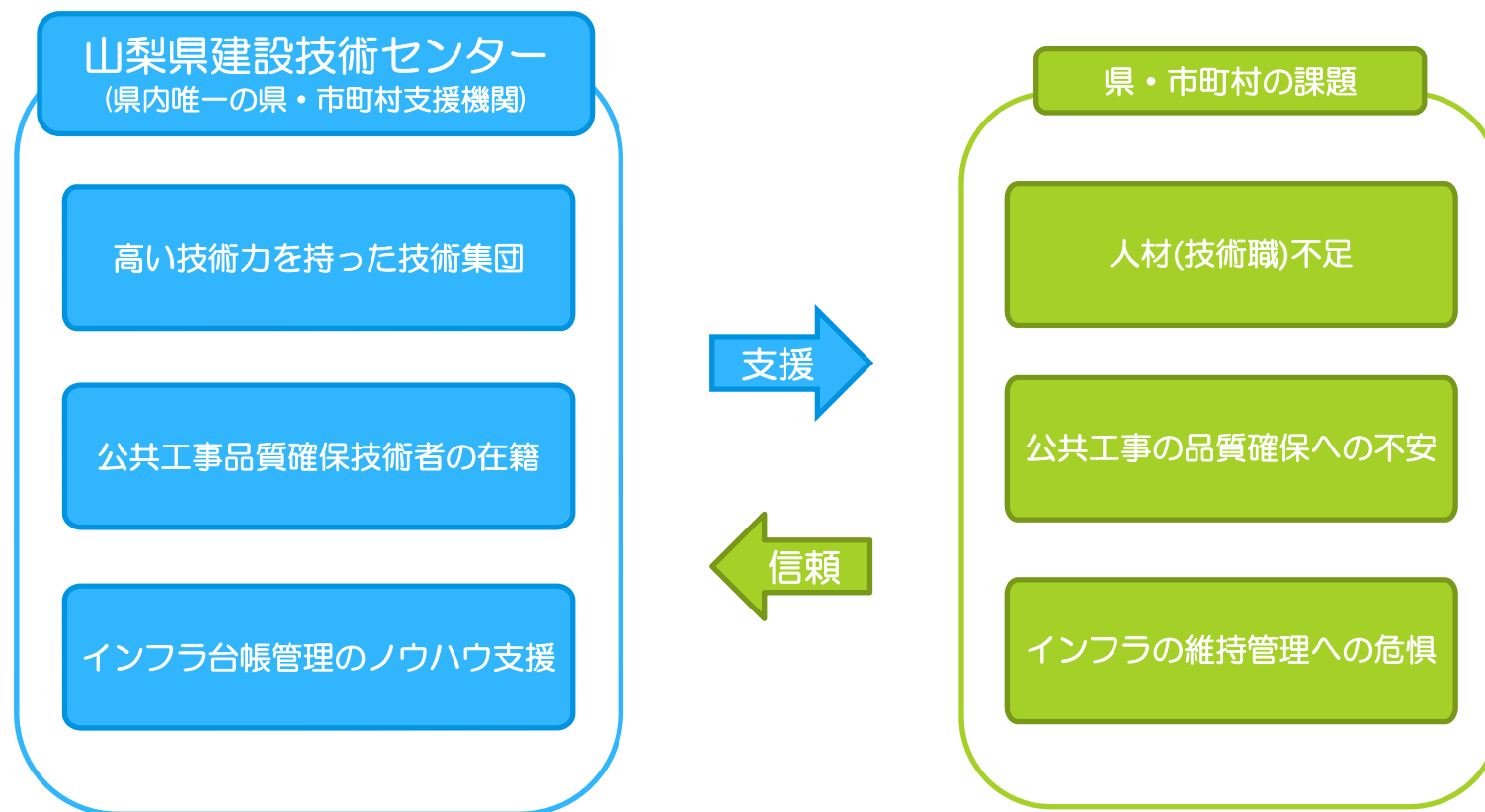
土木関係

- RCCM 8名
- 1級土木施工管理技士 25名
- 測量士 6名
- CALS/ECインストラクター 3名
- **公共工事品質確保技術者（Ⅰ種） 14名**
- **公共工事品質確保技術者（Ⅱ種） 12名**
- 技術士補（修習技術者を含む） 14名
- 山梨県被災宅地危険度判定士 7名

建築関係

- 建築基準適合判定資格者 7名
- 1級建築士 7名
- 公共工事品質確保技術者（営繕工事） 1名
- 応急危険度判定士 7名

4. 県・市町村支援機関としての役割



山梨県建設技術センターは、県・市町村の建設行政を支援することができる唯一の機関として、県・市町村から、高い信頼性を得ています！

また、支援機関の積極的な活用は、国からも推奨されており、技術センターへの期待感は益々高まっています！

5. 事業内容

1) 公共工事の積算及び現場技術業務など発注関係業務の補完支援業務

- 山梨県および県内市町村等の発注する公共工事の積算・設計業務
- 災害復旧工事、橋梁の耐震補強工事などの現場技術業務及び工事の出来高の確認業務
- 公共工事総合評価委員会の自治体における委員として、入札契約の一つである総合評価落札方式に関する指導、審査等業務



<甲府駅南口>



<国道411号トンネル工事>



<中部横断自動車道 中富IC>

2) 道路・橋梁等台帳データの更新など公物管理事務の補完支援業務

- 県下市町村が管理する道路、橋梁等の施設台帳の更新・維持管理業務
- 道路の占用許可申請等の事務補助業務
- 市町村への橋梁台帳システムの交付による運用支援
- 市町村への橋梁長寿命化計画策定支援
- 道路GISシステムの構築



<道路GISシステム>

5. 事業内容

3) 公共事業の適正かつ円滑な執行を支援する業務

- 労務費調査などの公共事業の基礎資料収集業務
- 自治体技術職員の技術力向上を図るための各種研修業務・一般県民を対象とした普及・啓発活動
- 公共工事建設発生土の再利用等のためのストックヤード及び処分地の管理・監視業務
- 県下自治体への山梨県土木工事積算システム及び工事評価システムの交付業務
- 大規模な災害の発生に備え、全国建設技術センター等協議会（全国道府県における同様の40法人で構成）との応援体制により、宮城県建設センターを支援



<労務費調査>



<社会貢献事業>



<災害派遣>

5. 事業内容

4) 建築確認審査業務・住宅関係法令等に基づく業務

- 建築確認審査業務及び住宅金融支援機構の適合証明（フラット35・財形住宅融資等）の設計検査及び中間・竣工現場検査業務
- 特定住宅瑕疵担保責任保険の履行確保等に関する法律に基づく、住宅瑕疵担保責任保険業務
- 長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく認定申請に係る技術的審査業務、及び住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく性能評価業務等



5) 市町村道路ストックの維持・管理業務

- 当センターが市町村からの委託を受け、橋梁をはじめ道路ストックの維持・管理・補修等のメンテナンスが適切に行われるよう点検を地域毎に一括発注し、その業務を管理・監督するとともに、市町村に橋梁の補修・撤去・更新などの情報を適切に提示する。



6. 求めている人物像

当社は、以下のような人を求めています

◇コミュニケーション力のある人

コミュニケーション能力は、人間関係を形成する基礎となるものです
仕事を進める上では、様々な関係者と良好な人間関係を築く必要があります

◇責任感・積極性・行動力のある人

自ら目標を設定し失敗を恐れず行動する力や、困難な目標であっても根気強く取り組む粘り強さが求められます

◇柔軟性のある人

社会情勢や業界のさまざまな変化のスピードが速まる中、アンテナを立てあらゆる情報を収集し、柔軟に志向や行動を
変えることができる力が求められています

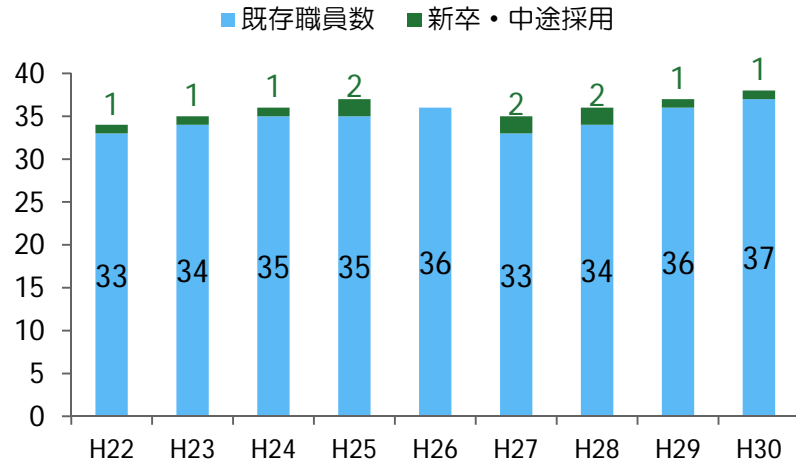
◇高い専門性を身につけたいという意欲のある人

当社は技術者集団であり、その技術力が当社最大の財産であります
社内研修をはじめ、さまざまな学習機会や自己研鑽により技術力の向上を図る意欲のある人を求めています

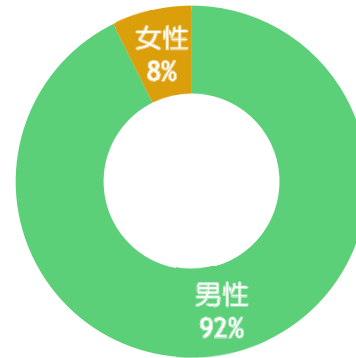


7. 採用実績等

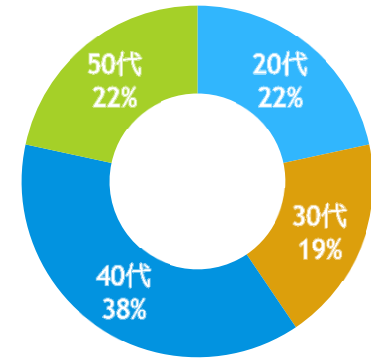
正職員数推移



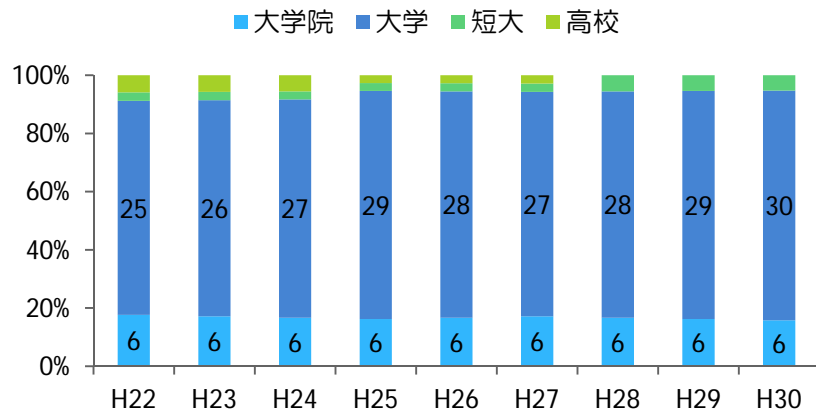
正職員男女別比率



年代別比率



正職員構成



○採用実績校

大学院	山梨大学大学院 秋田大学大学院 茨城大学大学院 法政大学大学院
大学	山梨大学(16人) 秋田大学 早稲田大学 東洋大学 日本大学 中央大学 工学院大学 東海大学 千葉工業大学 神奈川大学 大東文化大学 大阪芸術大学
短期大学	山梨県産業短期大学
高校	甲府工業高校

8. 勤務条件・福利厚生

初任給

大学卒
198,000円

賞与

山梨県に準じて、6月及び12月に、支給されます。

諸手当

家族手当、住居手当、通勤手当、時間外手当、休日勤務手当などの諸手当がそれぞれの支給要件に応じて支給されます。

勤務時間

勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分まで。休憩時間は、正午～午後1時

休日・休暇

休日は、土・日曜日、祝日、年末年始（12/29から1/3）です。
休暇は、年次有給休暇、夏季休暇、特別休暇（結婚、出産、忌引など）などがあります。
また、育児休業、介護休暇などの制度もあります。

福利厚生

資格取得費及び資格奨励金の支給
確定拠出年金制度
健康管理（健康診断/年1回、インフルエンザ予防接種補助）
宿泊施設の利用助成（2回/年）
甲府市勤労者福祉サービスセンターの利用
慶弔見舞金等の給付
永年勤続記念品の表彰（勤続20年、30年）

サークル活動

同好の有志が集まった各種のサークルがあり、和気あいあいと活動しています。
ゴルフ部、フットサル部など

研修

全国建設研修センターなどへの派遣研修



9. 案内等

一般公募



<受験資格・募集人数>

土木系学科を卒業見込みの者
若干名募集予定

<試験実施>

9月以降実施予定

<試験内容>

- 《一次試験》
 - ・筆記試験(教養・専門・論文)
 - ・適性検査
- 《二次試験》
 - ・面接



嬉しやすさ日本一を
めざして



私たちと一緒に
働いてみませんか？



お問合せ先<総務部>
055-232-0522



先輩職員の紹介

入社年	平成30年4月1日（2年目）
所属・職名	業務部積算課第一課・技師
主な仕事内容	山梨県が発注する工事を完成させるためにかかる金額を算出する積算業務をおこなっています。
やりがい	やりがいは山梨県民が安心して生活するために利用する道路、橋梁、河川等の社会資本を整備するお手伝いができることと、難しい図面や数量に苦戦しながらも成果品を作り上げたときの達成感です。
モットー	前向きに一步一步進んでいくことです。難しい課題があっても一つずつクリアしていけば先は見えてきます。
センターを一言で	一つの業務を複数の職員が分担し、協力し合い成果を出していく「助け合い」の会社です。また、災害時の困難な状況でも、みんなで団結して課題を解決します。 （メッセージ：信頼できる多くの仲間と、山梨県内の建設行政支援における様々な分野で、一緒に活躍しましょう。）
センターを選んだ理由	私は県外の大学に進学しましたが、地元のために働きたいと思い、山梨県の社会資本整備に携わることができる県庁や市役所での就職を考えていました。そんななか大学の教授に技術センターのことを教えてもらい、母校である東高校の裏にある建物が技術センターだと知りました。見学のときに県や市町村を積算業務や橋梁などの道路ストックの維持・管理業務等を通じて支援していることを知り、県と市町村の両方の社会資本整備に関われること、地元のために働けること、転勤が無く通いやすいことを魅力に感じセンターを選びました。



古屋さんのとある1日

8:15	バイクで出社
8:30 (始業)	県発注工事の積算業務 ・積算システムにより予定価格の算定。 ・数量計算書のチェック。
12:00	昼食 先輩達と近くのカレー屋で昼食。
13:00	現場踏査 ・現場の特性を調査し、積算に反映する。
15:00	打合せ（県庁） ・現場条件に合わせた積算方法等を担当者と話し合う。
17:30 (終業)	退社 ジムでリフレッシュ。

先輩職員の紹介

入社年	平成9年4月1日（23年目）
所属・職名	業務部積算第二課・班長
主な仕事内容	山梨県が発注する工事を完成させるためにかかる金額を算出する積算業務を行っています。
やりがい	自分が携わった仕事が地図に残るところが、一番のやりがいを感じる部分です。 また公共事業が円滑に進み、予算や工期が予定通り進むところにもやりがいを感じます。
モットー	人生万事塞翁が馬です。失敗は成功のもと、成功は失敗のもとだととらえ、仕事も私生活も前向きに考え行動しています。
センターを一言で	山梨県内の社会資本整備に真剣に、熱意を持って取り組む「まじめ」な会社です。仕事はもちろん飲み会やテニス大会・ソフトボール大会にも積極的に取り組んでいます。 (メッセージ：建設行政の支援を通じ、是非一緒に地図に残る仕事をしましょう)
センターを選んだ理由	小学校低学年のときに、近所の橋が台風で落ちてしまいました。その時は直前に通行止めをしたおかげで被害者はいませんでした。また橋がなくなり迂回する不便さや立派な橋を架けていただいた事が社会資本整備に携わりたいと思い山梨県及び県内市町村等が実施する、建設に関する公共事業が円滑に進むようその補完支援を行っているこの会社を選びました。



戸栗さんのとある1日

8:15	愛車にて出社
8:30 (始業)	県発注工事の積算業務 積算システムを使って設計書を作成
12:00	昼食 会社付近のラーメン屋にて昼食
13:00	現場踏査 積算該当現場の調査をします
15:00	打合せ（県庁） 積算業務の内容の確認等を密に行う
17:15 (終業)	退社 帰宅して子ども達に遊んでもらう



ご覧いただきありがとうございました